

令和6年度 浅羽学園浅羽北小学校グランドデザイン



浅羽学園教育目標

～ 未来を拓く 浅羽の人づくり ～
「こころざしをもち、共にによりよく生き抜くたくましい子」の育成

静岡県教育基本目標 「有徳の人」

袋井市教育理念 「心ゆたかな人づくり」

袋井市幼小中一貫教育が目指す子供像
「夢を抱き、たくましく次の一步を踏み出す15歳」

浅羽学園 構成学校・園



自立
(自立力)

自主

- 6つの目指す姿
- 自ら求めて学び続ける子
 - 課題に最後まで取り組む子
 - 自分の良さを発揮する子
 - お互いの幸せを願う子
 - 健康を大切にする子
 - ふるさとを愛する子

協働

共生
(社会力)

魅力ある学園づくり

プロセスを重視する「任せて認める」指導による

- 自己有用感と規範意識の醸成 (「居場所づくり」「絆づくり」)
- ポジティブな行動支援による「わかる」「できる」「楽しい」を実感する授業や活動の充実

- 浅羽学園 運営指針 (令和5年度～令和6年度)
- ◆ 学校が楽しい … 60%
 - ◆ みんなで何かするのは楽しい … 70%
 - ◆ 授業に主体的に取り組んでいる … 45%
 - ◆ 授業がよく分かる … 40%

- 親子で取り組む浅羽学園の人づくり
- ・生活習慣を身につけよう
 - ・家庭のルールを作り守ろう
 - ・心を豊かにしよう
 - ・学習習慣を身につけよう
 - ・体験やふれあいを大切にしよう

インクルーシブ教育システムの構築・充実

● 浅羽学園教科外カリキュラム

	前期 (年少・年中・年長)	中前期 (小学1・2・3年)	中後期 (小学4・5・6年)	後期 (中学1・2・3年)			
よりよい自分							
生活指導	生活に必要な行動をしている	相手を意識した行動をしている	時と場にあった行動をしている	先を見通した適切な行動をしている			
自ら学び続ける子							
学習指導	試したり、考えたりして楽しく遊んでいる	興味・関心をもち、進んで学んでいる	自分の考えをもち、課題解決を通して、学びを深めている	見通しをもって、粘り強く学習を進めている			
他者とのかわり							
特別活動	自分のしたいことや思いを出そうとしている	自分のしたいことや思いを言葉でつたえようとしている	自分の思いをもって、考えて行動している	自分だけでなく、他者の考えも含めて行動している	人のためになる喜びを感じている	集団のために、自分で選択し、行動している	よりよい集団づくりのために、互いに信頼し合い、それぞれの良さを発揮している
健やかな体づくり							
健康安全	体や健康に関心をもち、生活をしている	健やかな体をつくるために、何が必要かわかり、生活に取り入れている	健やかな体をつくるために、何が必要か理解し、自らの生活を振り返り改善している	健やかな体で成長した自分をイメージし、そのために必要なことを選択して実践している			

● 浅羽学園教科外カリキュラム

小中と連携したカリキュラム

「小中9年間を見通した教科外カリキュラム」 + 「思考ツールを活用し、思考スキルを身に付ける浅羽学園版教科外カリキュラム」

● 浅羽学園架け橋期のカリキュラム

円滑な接続を図るためのカリキュラム

浅羽北小学校 重点目標 「自立～気づき・考え・実行～」する子の育成

学校経営目標 自分で考え 共に考え合い みんなが笑顔になれる学校
～「任せて認める」指導を通して～

学びづくり

- 考え、考え合い、学びを実感する子**
- ・考え、考え合う必然性のある課題設定
 - ・話を聞いて、考え合うことで学びを深める
 - ・学びの実感を得る振り返りの場の設定
- ※教科担任制の実施
- 「授業がよく分かる」60%
 - 「めあてに対する自分の考えをもつ(表す)ことができた」55%
 - 「話をよく聞いて考え合うことで、自分の考えを深めることができた」65%
 - 「めあてに対して分かったことや学んだことを自分の言葉で振り返ることができた」55%

心づくり

- 自分も友達も大切にする子**
- ・自己有用感・自己肯定感を高め、安心して過ごせる居場所づくり
 - ・自主性・社会性を高める絆づくり
 - ・一人一人を尊重して寄り添う心の教育
- 「自分にはよいところがある」60%
 - 「学校が楽しい」70%
 - 「みんなで何かをするのは楽しい」80%
 - 「誰に対しても優しい心をもって接する」60%

体づくり

- 心もからだも元気に生活する子**
- ・たくましく生きるための体力の向上と運動の楽しさが実感できる体育指導
 - ・自分の健康に関心をもちつことのできる保健指導・食育指導
 - ・命を守るために頭と体を通して学ぶ防災教育・安全指導
- 「めあてに向かって運動する」65%
 - 「みんなで何かをするのは楽しい」80%
 - 「健康的な生活をしている」55%
 - 「給食を残さず食べようとしている」50%
 - 「災害や事件・事故から命を守るための行動をしている」75%

地域と協働する学校づくりと「チーム浅北」

コミュニティスクール

- ・地域の資源(人・もの・こと)を活用した教育課程
- ・学校運営協議会の意見の反映とボランティアの活用
- ・開かれた学校づくり
(教育活動の公開と学校行事後のアンケートの実施)
- ・PTA親子ふれあい活動と「浅羽学園の人づくり」の活用

働き方改革

- ・SC・SSW・外部機関との連携による相談支援体制づくり
- ・スクールサポートスタッフやボランティア活用による業務削減
- ・ペーパーレス化・デジタル化による業務削減
- ・定時退庁日・かえるボードの活用によるマネジメント
- ・健康づくり支援事業やストレスチェックの活用